

No.190

平成27年5月28日
鹿児島県立甲南高等学校
鹿児島市上之園町23番地1
TEL (099) 254-0175
題字 秋元望花 (本校教諭)

甲南だより

みんなでつくる「わっぜ甲南」

校長 海江田 修 誠



甲南高校に赴任して、あつと言間に二回目の春がやってきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。

この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々、創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によって受賞を記念する碑が建てられる予定です。昨年度は「もっと、わっぜ甲南にしよう」と呼びかけ、生徒も期待に込められてきました。この勢いは今年度になっても止まりません。事前の先生方の予想では劣勢だった今年度の甲鶴戦でも、十三対四で圧勝し、みごと四連覇を達成しまし

た。この勢いで、これから始まる高校総体から大学入試までの流れをみんなで乗り切ってほしいものです。そのような中、本校は文部科学省から国の平成二十七年スーパースクール（以下SGH校）として指定を受けることとなりました。このSGH校は国の指導や財政的な支援を受けながらグローバル人材の育成を目指すもので、県内での指定校は本校だけです。この指定を受ける際に助言をしていただいたケンブ

リッジ大学の岡本さんという方がおられるのですが、その岡本さんが生徒に「国際化とグローバル化はどう違うのか」と質問されたことがあります。生徒とのやりとりの中で、岡本さんは、「国境線を越えることに意味のあった国際化の時代は終わり、世界中の人を相手にどれだけ主張や行動ができるかが問われる時代となっている。ケンブリッジでは、世界中から集まった人たちが、自分の主張を展開しようと一生懸命勉強している。」という話をしてくださりました。この言葉にSGH校のこれからの役割が示されています。SGH校には、社会課題に対する関心を持ち、問題解決に向けた探究力を持った生徒の育成が求められています。

本校では平成十六年度に総合的な学習の時間が始まり、KIPプロジェクトとして課題研究にも取り組んで来ました。これまでの課題研究は、自分が進むかもしれない学部学科研究の一端として意味のあるものでした。それに対し今年度の二年生からは、これまでとは発想を変え、本県にとつて大きな課題である人口問題を共通のテーマに置き、大学や県内の専門家と連携して時間をかけて取り組むことにしました。問題解決に向けての論じ方を学ぶ経験を通して、生徒に世界を相手に自己主張をする力をつけさせたいと思います。研究発表の場として、県外の高校生を招へいたしたシンポジウムも行う予定です。さらに一年次に台湾へ、

二年次にイギリスへ生徒を派遣する事業を行うことにしました。この生徒海外派遣事業は「めざせ！二十一世紀薩摩スチューデント事業」と銘打ち、創立百十周年記念事業として同窓会の支援をいただいで実施するものです。学校の代表として事前研修のプログラムを受講した精鋭を派遣することとしています。このようなSGH校としての取組や、その一環である海外派遣のプログラムを通して、生徒同士が切磋琢磨することにより、学校全体を高いステージに押し上げる大きなエネルギーが生まれることを期待しています。甲南高校は今年度これまでとは違う新しいステージを迎えます。楽しみながら一年にしたいものです。

平成27年度入学式

新たなステージをめざす甲南高校に第69期生321人の若人来たり

4月7日（火）、第66回入学式が多くの来賓・保護者・在校生に見守られながら厳かに挙行されました。

吹奏楽部の奏でる「威風堂々」の中、やや緊張気味の新入生は温かい拍手に迎えられ、堂々と入場しました。

最初に海江田校長が壇上で見守る中、1組から8組まで、8人の担任がクラス毎に一人ずつ新入生321人を呼名しました。そして海江田校長の入学許可の宣言の後、新入生代表の上拾石遥菜さんが、甲南高校生として目標達成に努力すると力強く宣誓をしました。

海江田校長は式辞の中で、生徒・先生が一体感を持って頑張る甲南高校を好きになってほしいと述べました。新しいステージに向かう甲南高校の担い手となる新入生への期待を強く感じさせる内容でした。

小林祐二PTA会長は祝辞の中で、「心の顔を上げて高校生活を送ろう」と心に余裕を持った生活を送ることの大切さの話をされました。

生徒会長の福重望乃さんは、新入生に対し「『今』という時間を大切に楽しむ」など2つのアドバイスをし、甲南高校の校訓を心に刻み、一緒に伝統を引き継ごうと歓迎の言葉を述べました。

入学式後の各教室では初めてのHRが行われ、HR資料を通して、甲南高校での生活のあり方を説明する担任の言葉に熱心に耳を傾ける新入生の姿が見られました。



伝統を創る

二十七年度転入の先生方

- ① 前任校
- ② 趣味・特技
- ③ 甲南生に一言



教頭
荒田 修

① 県教育庁高校教育課
② キャンプ、テニス
③ 毎朝校門で生徒諸君から元気をもらっています。そして甲南高校という素晴らしい学校で勤務できることを大変嬉しく思っています。自分の夢・目標を叶えるために、今やるべきことに一生懸命取り組んでください。自分の道は自分で決める。自分で決まる。



事務長
中尾 純則

① 県教育庁始良・伊佐教育事務所(総務課長)
② 家庭菜園、ゴルフ、釣り
③ 二十三年ぶりの学校勤務です。初めての甲鶴戦は、勝利もさることながら、生徒の皆さんの一挙手一投足に感動・感動・また感動でした。そして新たな感動がとも楽しみです。



国語
櫻木 賢一

① 志布志高校
② スポーツ観戦(特に野球)
③ 勉強に打ち込む真剣なまなざし、校庭に響く部活動に励む元気な声、甲鶴戦で見せてくれた熱い思い。そのどれもが甲南生の真の姿であることを日々実感しています。甲南で共に学べることがとても楽しみです。



地歴公民
小掠 貴之

① 伊集院高校
② ドライブ
③ 高校三年間は、何を思い、何と出会うかで人は変わっていきます。自分の興味・関心のあることだけではなく自分の視野を広げる努力をしていきましょう。



数学
大久保 晃

① 国分高校
② ウォーキング
③ 歴史と伝統のある甲南高校に赴任して、大変うれしく思います。集団での行動

が機敏にできる生徒達という印象を持ちました。様々な事に挑戦し、粘り強く努力し、充実した高校生活にしてほしいと思います。



数学
中村美保子

① 大島高校
② 時間短縮料理の研究
③ 緑あふれる、エネルギーに満ちたこの地で共に毎日を過ごせることを大変嬉しく思います。「剛明直」の校訓のもと互いに切磋琢磨し日々成長していこう。



数学
有満 光崇

① 松陽高校(新採)
② ドライブ・読書
③ 大きな目標を達成するためには、小さな目標をコツコツと達成していくことが必要です。学問も同じことが言えます。日々努力を積み重ねて、一緒に成長していきましょう。よろしくお願ひします。



数学
時本 直

① 広島県立呉三津田高等学校
② トランペット演奏
③ 今年度人事交流で広島県からやってきました。伝統ある甲南高校に赴任でき、

大変嬉しく思っています。皆さんの夢の実現に向け、努力していきます。一緒に高めあっていきましょう！



保健体育
平田 直樹

① 国分高校
② ホームセンター巡り
③ 高校2年の時、国語が学年でビリでした。勉強ではあまりいい思い出はありません。苦労もしました。ですが卒業して初めて母校の凄さ・すばらしさを感じました。あなた方が通っている学校はどのような学校でチャレンジしよう！



芸術(書道)
秋元 望花

① 鹿屋農業高校(新採)
② 旅行・温泉
③ 探してみてください。学校にはたくさんさんの芸術作品があります。それぞれにある芸術の美しさを感じ、心を豊かにしてほしいです。そして、皆さんと日々成長していきたいと思っています。よろしくお願ひします。



英語
太田 陽子

① 沖永良部高校
② バドミントン
③ 先日の甲鶴戦は、皆さん

の青春を心から謳歌する姿に感動し、甲南高校に赴任できたことを大変嬉しく思えた一日でした。様々な事に挑戦し、皆さんとともにさらに精進していきたいと思っています。



家庭
森園 礼子

① 福山高校
② 読書
③ 皆さんが真摯に学び、部活動に精一杯取り組む姿をみて感動しています。私も日々向上心を持って臨みたいと思います。家庭科で沢山のことを学んで、人間力を高めてください。



事務室(図書館)
宮原 まみ

① 徳之島高校
② 読書・絵本収集
③ 「活字の林をさまよいたい思考の泉のほとりにたたずむ」(椋鳩十) 大好きな言葉のひとつです。西校舎三階の図書館が、甲南生にとって魅力ある場所になりますように。よろしくお願ひします。



事務室
西川 幸弘

① 大口高校
② 使用済の珍しい切手収集
③ 部活動や清掃など、一生

懸命な姿が印象的です。進路実現のために頑張ってください。



芸術(美術工芸)
内 ゆき

① 鹿児島商業高校
② スポーツ観戦・畑いじり(最近、スイカの苗が急成長しています！)
③ パリに留学中の上原先生の代わりに甲南高校へ参りました。最初で最後のこの一瞬に五感を研ぎ澄ませ：心に「ときめき」を感じながら、皆さんと一緒に走り抜けていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



事務室
児浦 清文



事務室
福島 愛

① 甲南高校が初任です。
② 読書
③ 甲南生の皆さんと少しでも多く関わり、一緒に楽しみたいと思ひます。よろしくお願ひします。

紅紫繚乱

（瞳輝く瞬間を刻め） 第四十五回甲南・鶴丸スポーツ交歓会

四月十七日午前八時、甲南生と鶴丸生の思いが通じたような恵まれた天候の下、第四十五回甲南鶴丸戦が始まった。例年と異なり、新しく生まれ変わった補助競技場近くに集合した甲南生・先生方の思いは、ただひとつ。目指せ、四連覇！わっぜ甲南魂を見せつけろ！

その思いをまず背負ったのは開会式直後に行われたラグビーだった。初めての全校応援というプレッシャーの中、敵地へ走りトライを決める選手の中は、とても遅かった。この勢いがあれば絶対勝ると、多くの者が奮い立った。そして、甲南生はそのラグビーの勢に乗った。昨年惜敗したサッカー部も勝利を取めた。ときは校長先生始め多くの先生方が驚いた。負け知らずの水泳部も勝ち、体育



館で行われた競技は全て圧倒的な強さを見せ、各会場で熱戦を繰り広げた結果、四連覇を確信した甲南生が、最後に集うのは野球場。甲南生として団結し、四連覇を果たすことができた第四十五回甲南鶴丸戦。翌月曜日には全校朝礼で三本締めをして勝利を祝い、新しい目標を設定した。創立百十周年で五連覇という偉業を達成する。すでに第四十六回甲南鶴丸戦への戦いは始まっている。勉学に励み、部活動に勤しみ、心をひとつにするのを忘れないで、この感動を糧に毎日がんばろう。そして必ず五連覇を成し遂げよう。



種目	得点	
	甲南	鶴丸
ラグビー	14	29
陸上競技	58	50
サッカー	2	1
ハンドボール	26	24
男子バスケット	80	66
女子バスケット	59	37
男子バレー	2	0
女子バレー	2	0
卓球	9	4
バドミントン	10	5
水泳	144	111
テニス	2	3
ソフトテニス	8	4
剣道	0	5
弓道	88	84
空手道	4	2
野球	6	19
総合	13種目	4種目



も全員総立ちになり機を飛ばした。吹奏楽部は三時間吹きっぱなし、応援団は三時間立ちっぱなし。部活も学年も関係なく、その場にいた甲南関係者全員が声を枯らして応援した。心がひとつになった瞬間だった。甲南生として団結し、四連覇を果たすことができた第四十五回甲南鶴丸戦。翌月曜日には全校朝礼で三本締めをして勝利を祝い、新しい目標を設定した。創立百十周年で五連覇という偉業を達成する。すでに第四十六回甲南鶴丸戦への戦いは始まっている。勉学に励み、部活動に勤しみ、心をひとつにするのを忘れないで、この感動を糧に毎日がんばろう。そして必ず五連覇を成し遂げよう。

卒業生の大学合格状況について

数学・理科の新教育課程に対応した初年度入試！しかし、数学・理科以外にも新課程を意識した出題が…。7科目型平均点は、文系で上昇、理系で前年並。

今年の大学入試センター試験は1月17・18日の2日間にわたり、全国690の試験場で実施された。志願者数、受験者数とも前年比99・7%といずれも前年から大きな変化はなく、総受験者数は530、537人であった。志願者数の現卒別の内訳をみると、現役生の18歳人口の増加に伴い、昨年からの約1万2千人の増加、既卒生は約1万3千人の減少となった。既卒生の減少は今春入試の大きなトピックであった。

教科別に分析すると、昨年から大幅に平均点がアップした「国語」の貯金分を、「数学②」と「地歴」の平均点ダウンで食いつぶす形となり、「英語」は例年並みであった。その結果、全国の7科目型平均点は文系が前年差+9点、理系が前年差+1点となった。なお、新課程の「生物」と旧課程の「物理I」の平均点が20点以上の開きが出たため、理科②において17年ぶりの得点調整も行われた。

そのような状況下であったが、本校卒業生は今年度も大健闘を見せた。国公立大学合格者は278名（うち現役合格者は214名）を数え、8クラス時代に難関大においても、京都大学1名（現役1名）・一橋

平成27年度大学入試合格状況

国公立大学				私立大学			
校名	新卒	旧卒	計	校名	新卒	旧卒	計
北海道大学	2	1	3	青山学院大学	1	3	3
東北大学	1		1	学習院大学	4	1	5
東京大学	1		1	慶應義塾大学	4	3	7
京外語大学	1		1	中央大学	2	2	4
お茶の水女子大	2		2	東京理科大学	1	4	5
一橋大		1	1	法政大学	4	7	11
東京工業大		1	1	明治大学	2	2	4
東京芸大	1		1	立教大学	2	4	6
横浜国立大	3		3	早稲田大学	1	9	10
京都大学	1		1	近畿大学	4	5	9
大阪大学	1	2	3	関西学院大学		7	7
神戸大学	2	1	3	同志社大学	11	15	26
広島大	11	4	15	立命館大学	17	2	19
九州大	21	6	27	西南学院大	14	22	36
九州工業大	5	1	6	福岡大	55	44	99
熊本大	22	5	27	その他			
鹿児島大	94	25	119	小計	122	130	252
その他	47	17	64				
小計	214	64	278				

大学1名（旧卒1名）、東京工業大学（旧卒1名）、大阪大学3名（現役1名）、九州大学27名（現役21名）、国立大医学部医学科に2名（旧卒2名）と健闘した。特に国公立大学の現役合格者数が200名の大台を突破したのは3年ぶりとなった。

さて、新3年生の大学入試センター試験は全教科が新課程からの出題となる初年度試験となる。理科・数学は昨年度の経験が踏まえ、その他の教科においては不透明な部分が残るが、いかなる出題にも耐えうる準備はしていく予定である。大学の入試制度もどんどん変化している。各大学の入試要項等に対してもアンテナを高くしておかなければならない。

「感性を高め知識と融合」



PTA会長 小林 祐二

新緑の木漏れ日を受けて、さらさらと輝き流れる小川。自分が酸素だったら誰と一緒に手を繋いで泳ごうか？水素だったらどの岩隙（格子欠陥）をすり抜けようか？考えているうちに、原子となった自分が川の中にいる。次に、川岸に立つ史跡に手を触れると、今度は瞬時に数百年の時を超え、先人の声や息遣いが聞こえてくる。案内板のわずかな数行の説明で、当時の人々の生活や世界に勝手に飛び込んでいる。

「志」を持って



PTA副会長 竹之内日出晴

皆様こんにちは。まずは甲鶴戦四連覇、おめでとうございます。出場された選手の皆様一人一人のがんばりと、心を一つに声援を送った生徒の皆様や先生方の応援の賜物だと思えます。皆様と同じ方向を見て、素晴らしい瞬間を共有出来た事は、きっと皆さんの心の支えになるでしょう。

自分を信じて



PTA副会長 協田 博子

今年も気持ち新たに甲南生全員が、それぞれの想いを胸に新年度を迎えたことと思います。甲鶴戦においても、高校生活最後の一年のスタートである二年生、いよいよ学校の中心として頑張っていくかなければならない二年生、そしてそんな先輩の姿に、改めて甲南生としての自覚と、希望に胸を膨らませた一年生の姿がともみえ、見えました。

の中には情報で溢れかえり、私達はそこから、今、必要な事を見つけ出し、選ぶ目を持たなくてはなりません。しかし、選択を誤ってしまうことでもあります。大切なのは、間違いに気付いた後、どのように修正していくかです。

「夢は叶うもの。思い強ければ」泣いても笑っても一度きりの人生です。失敗を恐れず自分を信じてください。PTAでは、子どもたちが充実した高校生活を送れるように、先生方、保護者の皆様の御協力をいただきながらみんなでサポートしていききたいと思えます。

平成二十七年PTA役員

- 会長 小林 祐二
副会長 竹之内日出晴
監事 協田 博子
1学年理事 森山 眞里
2学年理事 内園 知美
3学年理事 江口紀代子
委員長 橋爪あゆみ
副委員長 児玉由加利
3学年理事 柳元祐里子
委員長 田中 芳
副委員長 前原登喜子
森山 律子

転・退職の先生方

- 転出 西橋 瑞穂先生(教頭)
福永 幸成先生(国語)
川内 幸成先生(国語)
中村 一誠先生(地公)
大島北 孝栄先生(数学)
梅花 孝栄先生(数学)
国分 孝栄先生(数学)
永山大三郎先生(数学)
鹿屋 健太先生(数学)
楠原 輝秀先生(保健)
竹原 輝秀先生(保健)
県教育庁保健体育科指導主事
池田 光磨先生(芸術)
大島 哲郎先生(英語)
山元 哲郎先生(英語)
出水 哲郎先生(家庭)
霧島 具實先生(事務)
南薩 養護学校事務長
大迫 勝洋先生(事務)
退職 有村 貢先生(事務長)
山下 明子先生(国語)
酒井 美和先生(数学)
福岡 立築上西先生(英語)
八木 健二郎先生(英語)
中島 洋子先生(事務)
国外留学 上原 直哉先生(芸術)

今年の主な行事予定

Calendar table with dates and events: 4月6日 始業式, 4月7日 第66回入学式, 4月16日 二高女創立記念日, 4月17日 第45回甲鶴戦, 5月8日 PTA総会, 5月13日 二中創立記念日, 5月25日 創立記念日, 6月16日 創立記念講演会, 6月30日 2学年修学旅行, 7月3日 1学期末考査, 7月6日 クラスマッチ, 7月17日 終業式, 8月24日 始業式, 8月25日 実力・課題考査, 9月5日 第67回体育祭, 10月2日 第55回文化祭, 10月6日 芸術鑑賞会, 10月8日 2学期中間考査, 10月7日 1学年PTA, 10月23日 第34回薩摩半島縦走, 11月2日 平成27年第3回甲南塾, 11月5日 6日 11月実力考査, 11月27日 12月2日 2学期末考査, 12月24日 終業式, 1月8日 始業式, 1月26日 1月実力考査, 1月27日 平成28年第1回甲南塾, 2月19日 24日 学年末考査, 3月1日 第67回卒業式, 3月2日 クラスマッチ, 3月25日 修了式

